

## 2025年度 文学部 学生・教員懇談会 議事録

日時：2025年7月31日（木） 12:10～13:30

会場；マルチメディア会議室

参加者：各コース学生代表者，学部長，評議員，各コース長，学生委員長，学生委員，学務グループ担当者

### **懇談会テーマ「AIと共に生きる時代の大学での学びについて」**

各コースごとに，学生代表者によるディスカッションテーマに関する発表が行われた。

#### 行動科学コース：

学生の身近な AI 利用例が具体的に紹介され、活用されることが多い用途や注意を要する用途について考察が行われた。また、授業内の AI 利用に関して、学生が抱く懸念点も示された。

#### 歴史学コース：

コース内の学生を対象に行われたアンケート結果について説明があった。利用頻度や AI 利用に対する印象，要望などがまとめられ，紹介された。

#### 日本・ユーラシア文化コース：

身近な利用事例があげられ，学生が感じる「AI との距離感」をはじめとする懸念について述べられた。今後の方向性として，学生・教員を対象とした AI 活用相談窓口の開設が提案された。

#### 国際言語文化学コース：

AI を積極的に使用しているフランス語授業を参考に，複数の AI ツールで日本語からフランス語へ翻訳した文章を比較した結果が示された。また，実際に就職活動に使用された企画書の例も紹介された。

各コースの発表後，学生・教員間で意見交換が行われた。各プレゼンテーションの内容に関する質疑応答のほか，以下の質問があった。

教員質問：学生の AI 利用程度は肌感覚としてどの程度か

学生回答：課題の全てを AI で作成する学生は稀であり，補助的に使っている学生がほとんど。学生間で AI 生成の弱点も共有されている様子

学生質問：学生が AI を利用したことは教員側から分かるか

教員回答：授業内の他の成果物や態度と比較したり，AI の文章の特徴などから，分かることが多い

その他，教員側からは，授業内の AI 利用は前提としてその過程を含めて評価すべき，ルールを明示することの重要性，分野ごとに柔軟性のあるルールや対応の必要性，などの意見があった。

### テーマ以外の意見

学生から、学生の昼食時休憩の時間と学部学務室の休憩時間が被ってしまうことに関する意見があった。学務グループ担当者からは、履修登録期間に関しては学務室の休憩時間が設けられていないので活用してほしいことが伝えられた。

学生参画会議の参加者について：

懇談会に出席した学生代表者全員が 10 月 23 日に行われる学生参画会議に参加することで同意された。